

災害関連緊急砂防事業等に関する説明会

平成31年1月16日
小屋浦小学校 体育館

広島県西部建設事務所

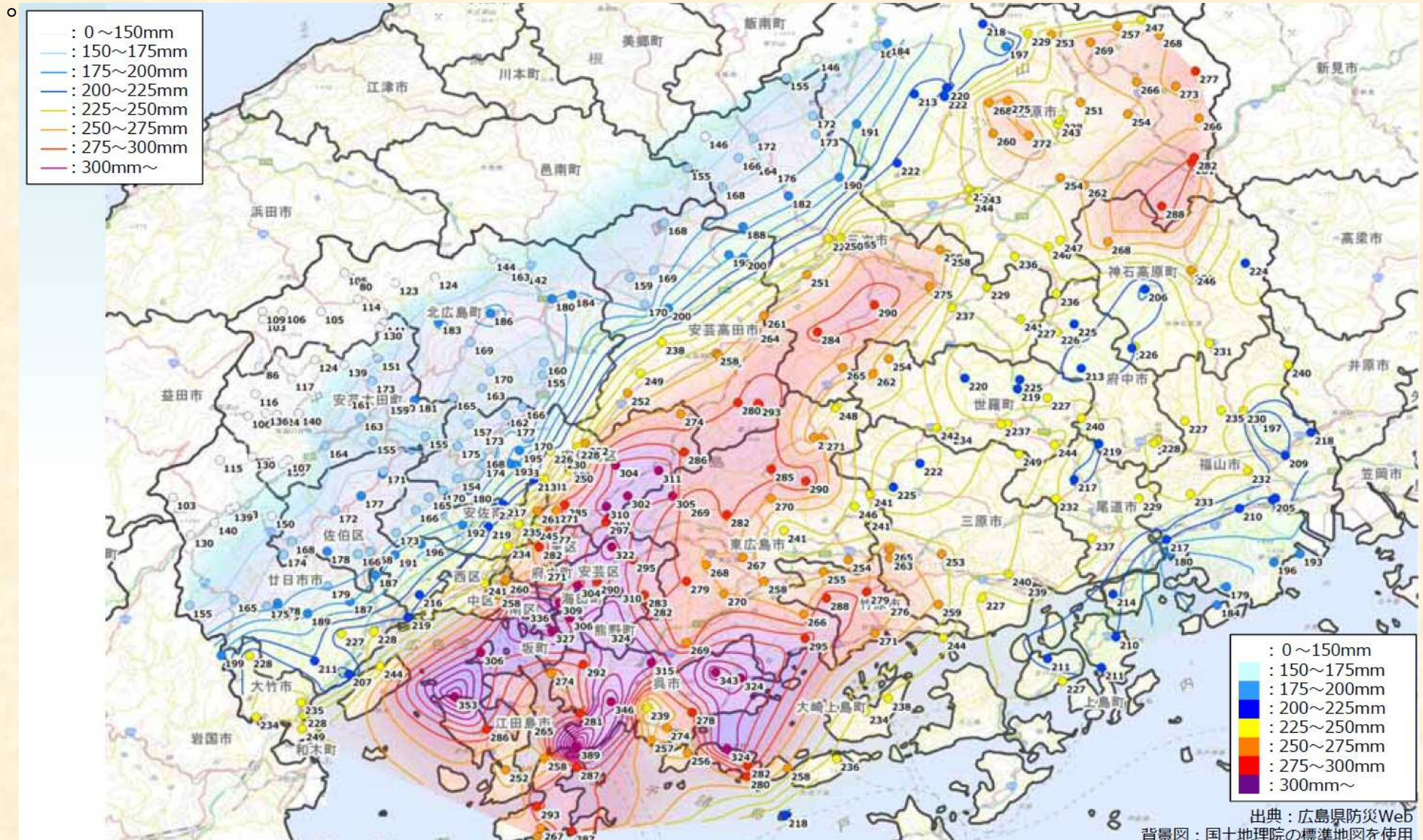
目次

- 1 気象状況について
- 2 砂防堰堤の計画について
- 3 事業スケジュールについて
- 4 天地川本川の工事について
- 5 事業実施にあたって
- 6 その他

1 気象状況について

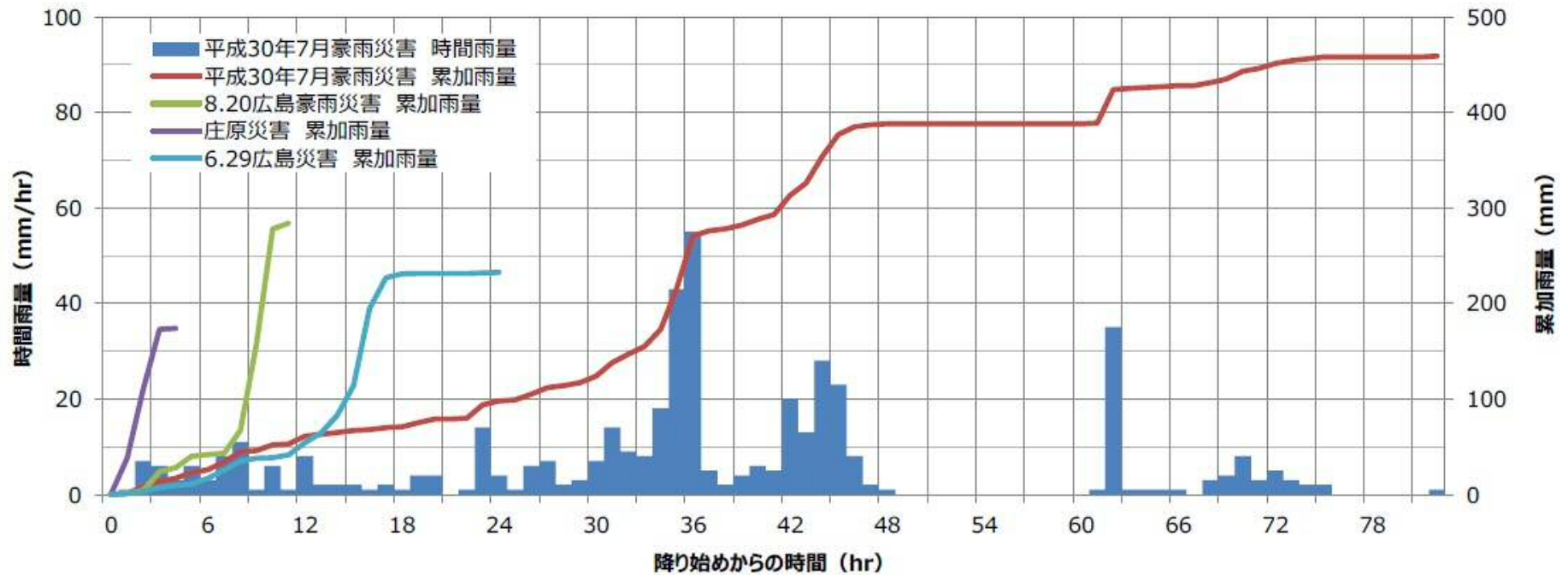
平成30年7月豪雨の概況

- 7月4日に日本海中部で台風7号が温帯低気圧に変わり、温帯低気圧からのびる梅雨前線が西日本に停滞し、温かく湿った空気が流れ込んだため、6日昼過ぎから7日朝にかけて大雨となり、22市町に大雨特別警報が発表された。
- 7月6日12時から24時間雨量は、南西部、南東部、北東部で200mm以上を観測。
- 北東部の特に多いところでは250mm以上、南西部の特に多いところでは350mm以上を観測



平成30年7月豪雨の気象状況について

- 過去の災害と比較して、累加雨量※は1.6~2.6倍、降り始めから降り終わりまでの時間は3.4~20.5倍



災害	累加雨量	降り始めから降り終わりまでの時間	観測所
6.29広島災害	232.5mm	24hr	1999/6/28 23:00~6/29 23:00 八幡川橋 (広島市佐伯区)
庄原災害	174mm	4hr	2010/7/16 15:00~19:00 大戸 (庄原市)
8.20広島豪雨災害	284mm	11hr	2014/8/19 18:00~8/20 5:00 三入 (広島市安佐北区)
平成30年7月豪雨災害	459mm	82hr	2018/7/5 8:00~7/8 18:00 天応 (呉市)

※降り始めから降り終わりまでの一連の降雨量の積算値。

2 砂防堰堤の計画について

砂防事業とは…

流域における荒廃地域の保全及び土石流等の土砂災害から下流部に存在する人家，耕地，公共施設等を守ることを目的とします。



砂防堰堤工の事例



砂防堰堤の働きについて

- 砂防堰堤は土石流を捉える施設です。
- 土石流とともに流木についても捉えます。
- また、土砂を溜めることで谷が広く、緩やかになります。これにより、土石流の威力を弱める働きもあります。



透過型堰堤



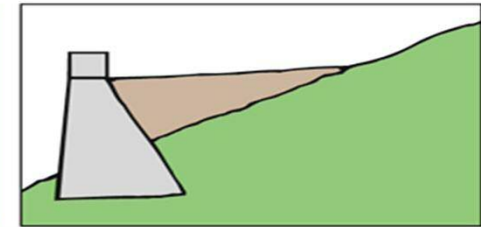
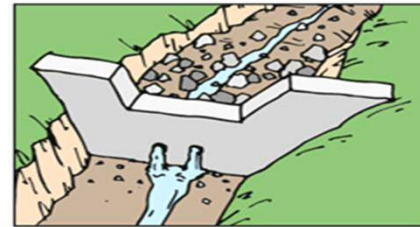
不透過型堰堤

砂防堰堤の効果

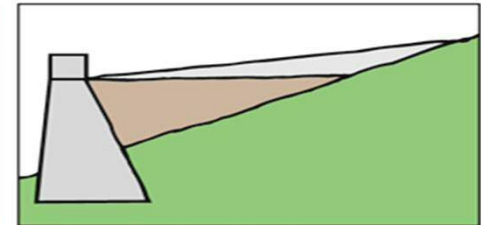
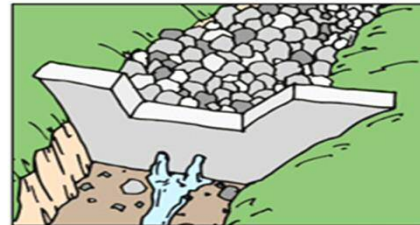
- ①土石流を直接受け止め、
下流の人家や公共施設を
土石流の直撃から守る。
- ②流出してきた土砂を溜め、
下流の河川の埋塞を防ぐ。
- ③溪流内の不安定な土砂の
発生と流出を減少させる。
- ④洪水時の流出土砂を一時
堆積させ、土砂を安全に流下
させる。

砂防堰堤の効果

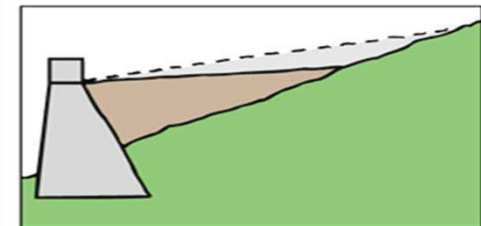
砂防堰堤は、流れてくる土砂を全て下流に流さないというものではありません。洪水や氾濫の原因となる土砂の流出を防ぐとともに、土石流をくい止める役割を果たしているのです。



土石流発生前／流れてくる土砂をためます。



土石流発生時／ためた土砂の上にさらに土砂がたまります。



土石流発生後／中小洪水で土砂を少しずつ下流に流します。

災害関連緊急砂防事業とは

災害により崩壊した土砂が溪流内に残っており，次の出水により流れ出た場合，下流に著しい土砂災害を及ぼす恐れがあるため，緊急的に砂防堰堤を整備するもの。



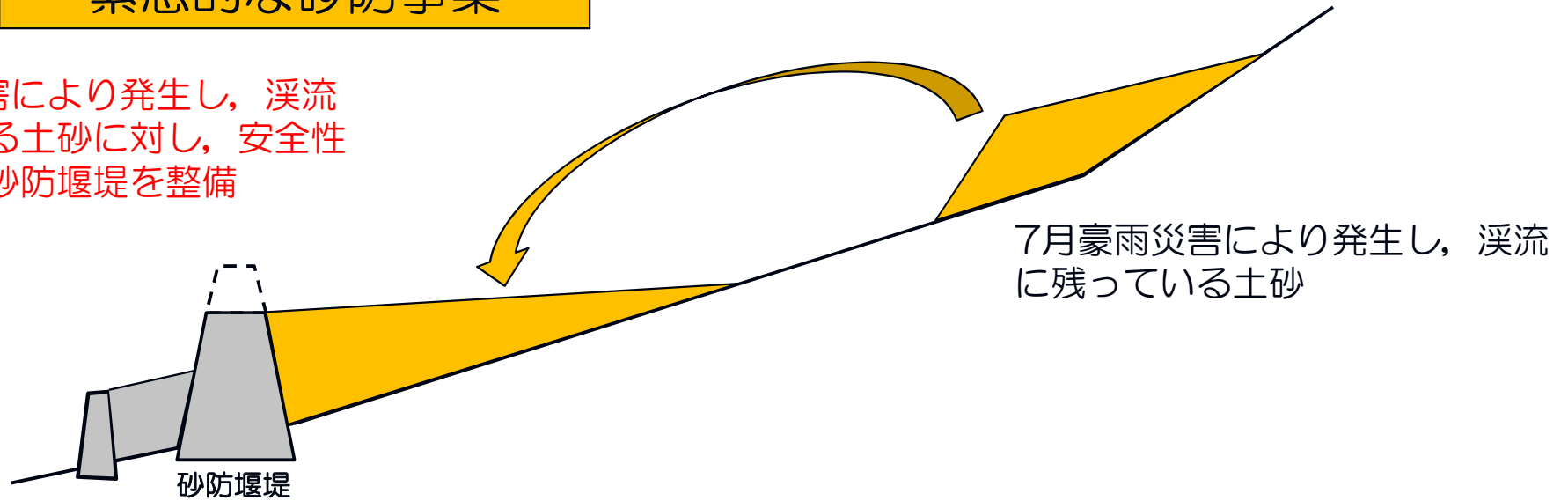
緊急的な砂防堰堤工事

※流域全体の安全を確保するための対策については，継続して実施します。

緊急事業・砂防事業の事業内容

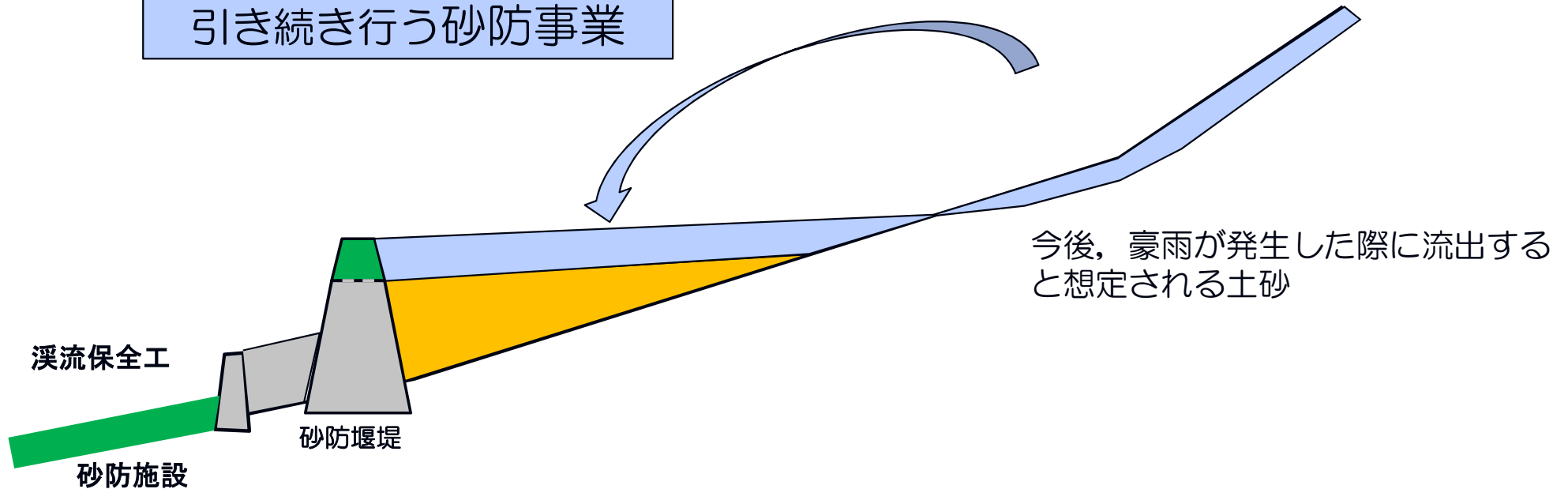
緊急的な砂防事業

7月豪雨災害により発生し、溪流に残っている土砂に対し、安全性を確保する砂防堰堤を整備

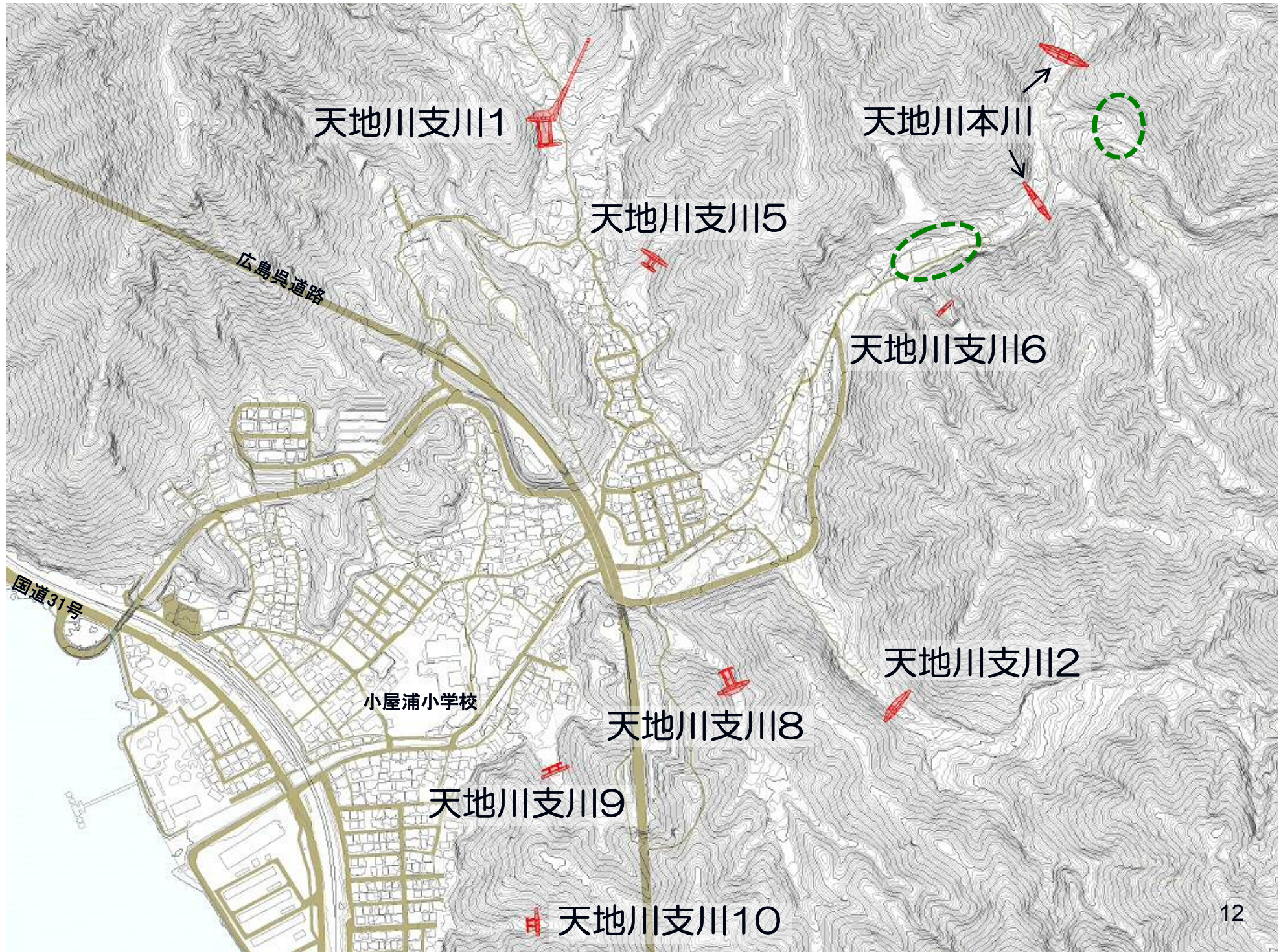


引き続き行う砂防事業

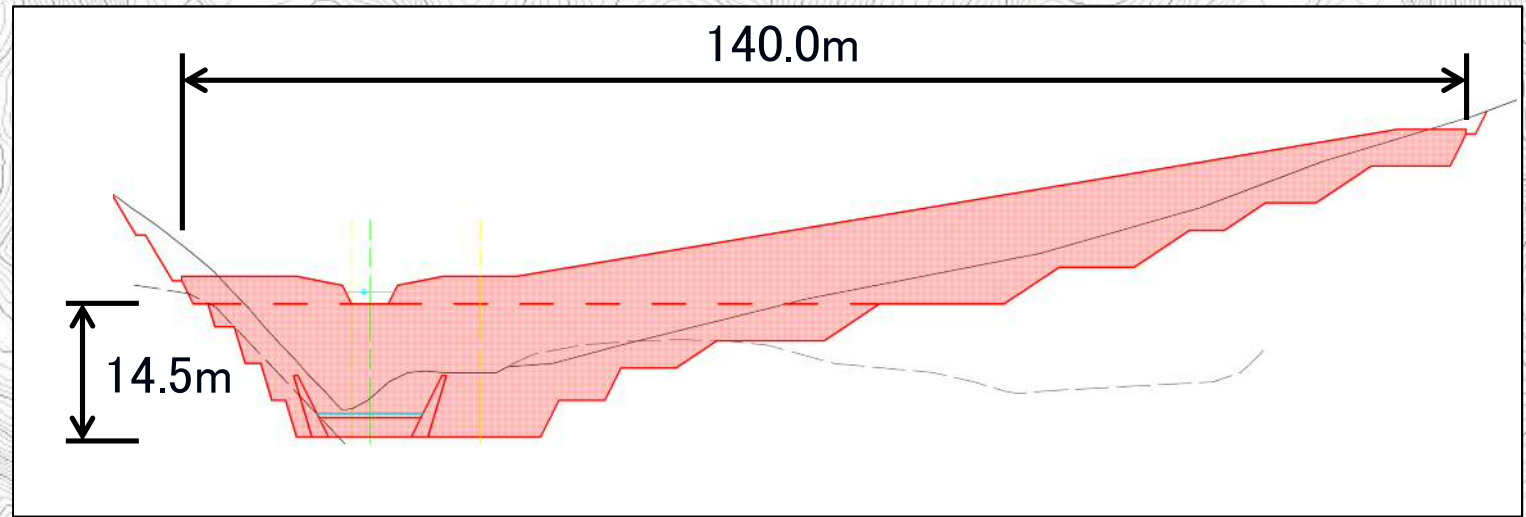
今後、豪雨が発生した際に流出すると想定される土砂



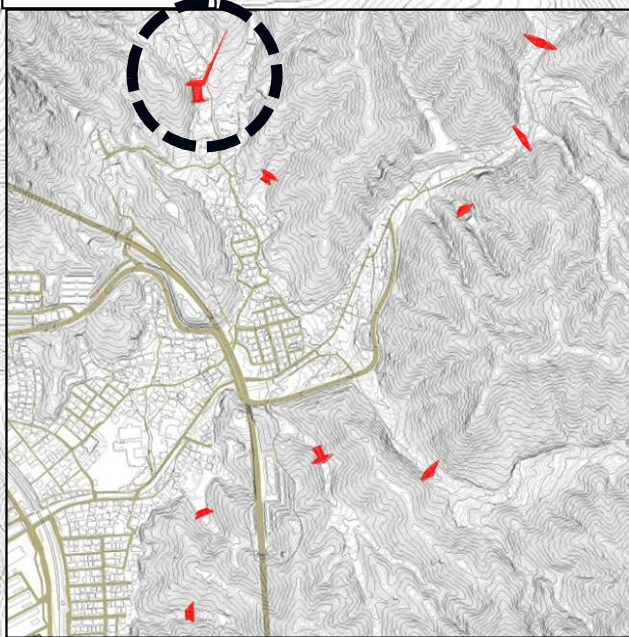
砂防堰堤の配置計画



天地川支川1について



位置図



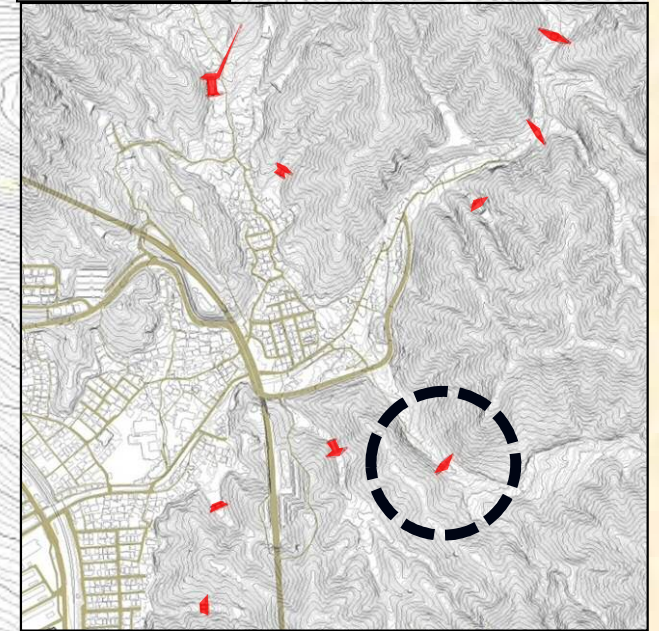
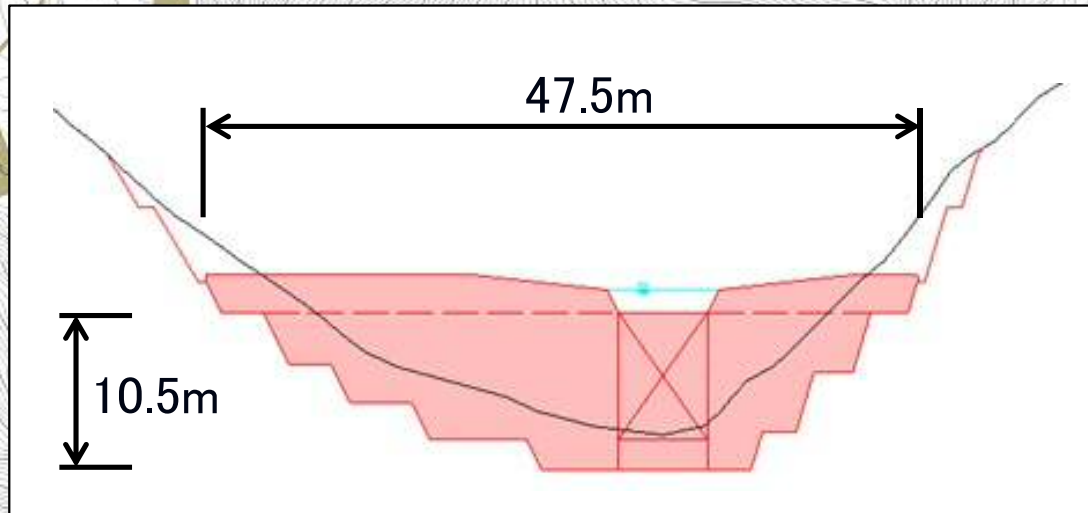
流出土砂量
約20,600m³



※ 工事の内容（寸法・形状・位置等）については
確定したものではありません。

天地川支川2について

位置図

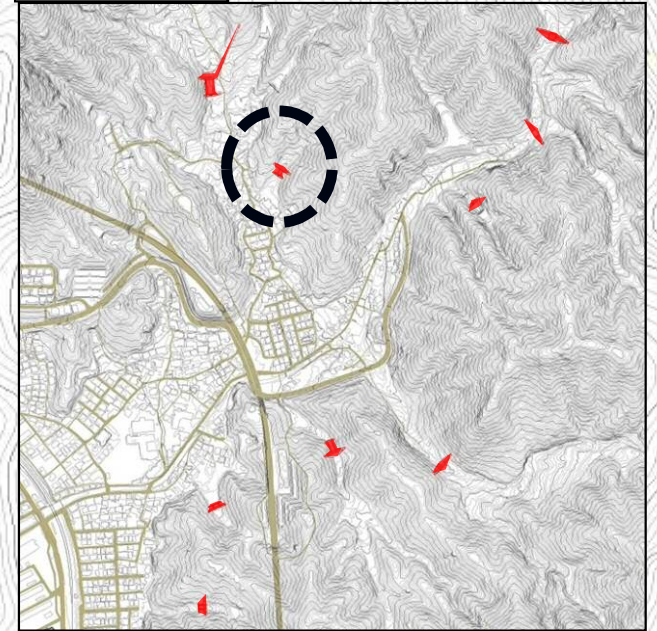


流出土砂量
約24,100m³

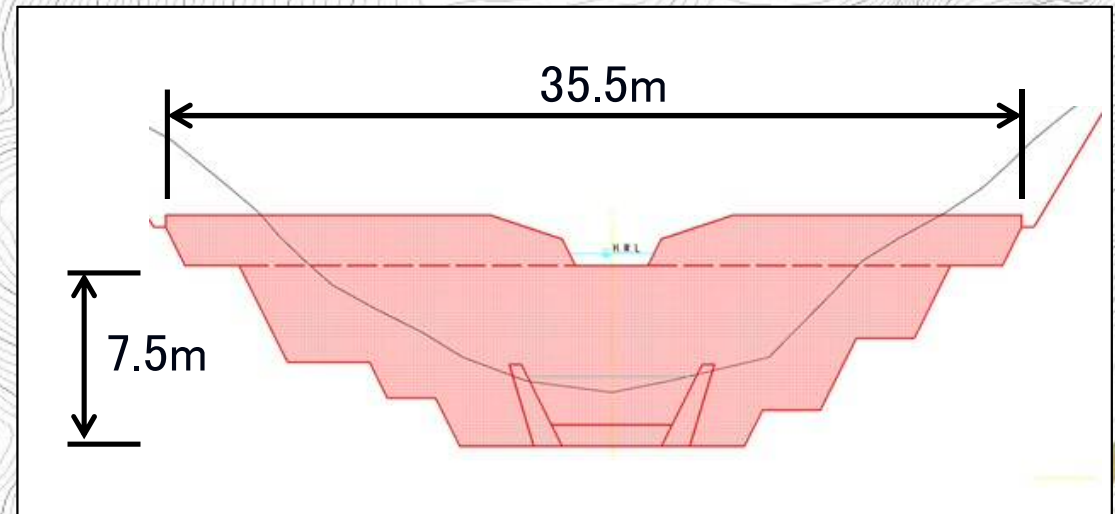
※ 工事の内容（寸法・形状・位置等）については
確定したものではありません。

天地川支川5について

位置図



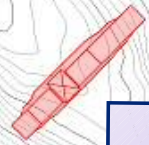
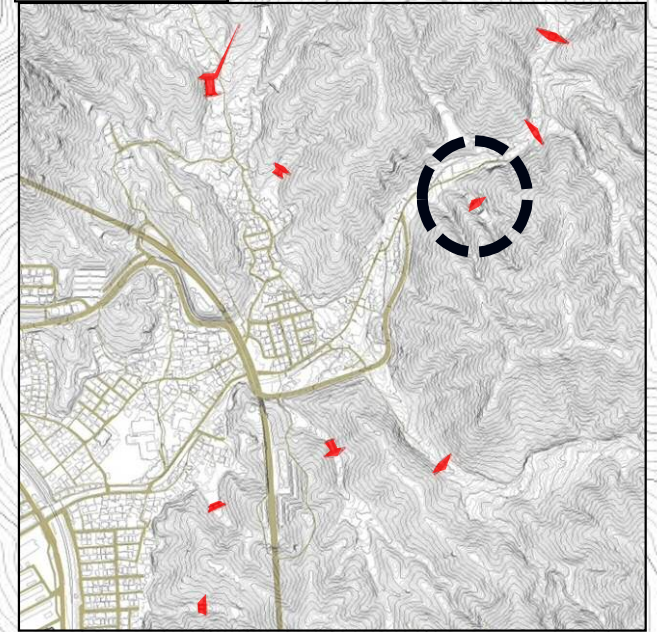
流出土砂量
約3,400m³



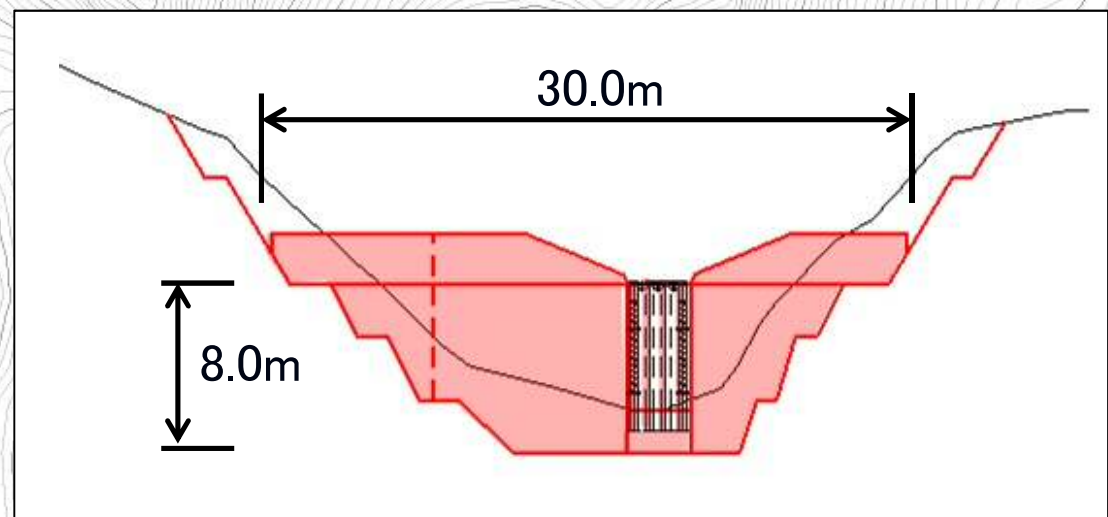
※ 工事の内容（寸法・形状・位置等）については
確定したものではありません。

天地川支川6について

位置図



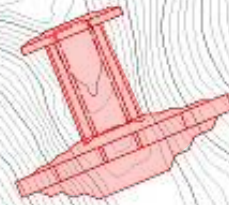
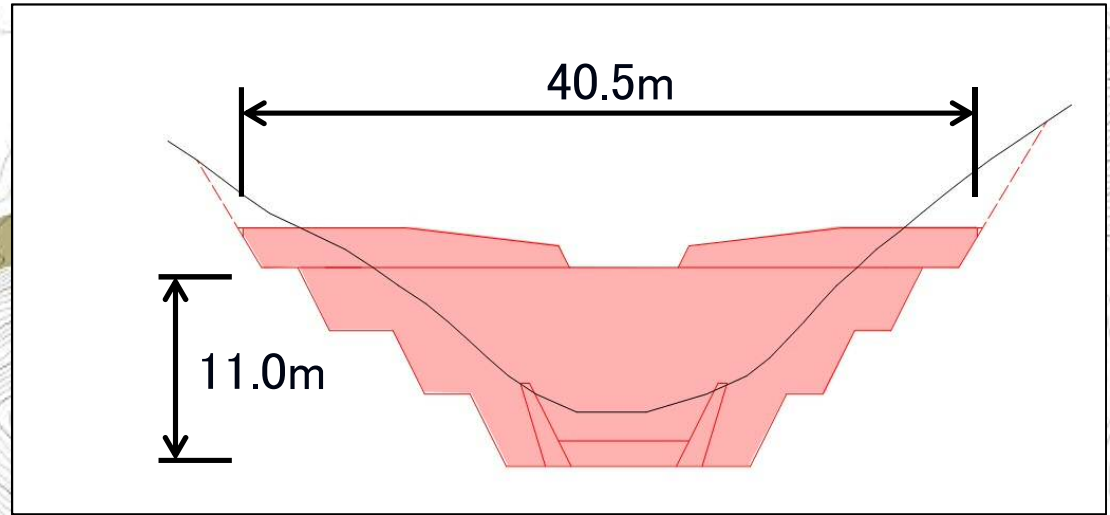
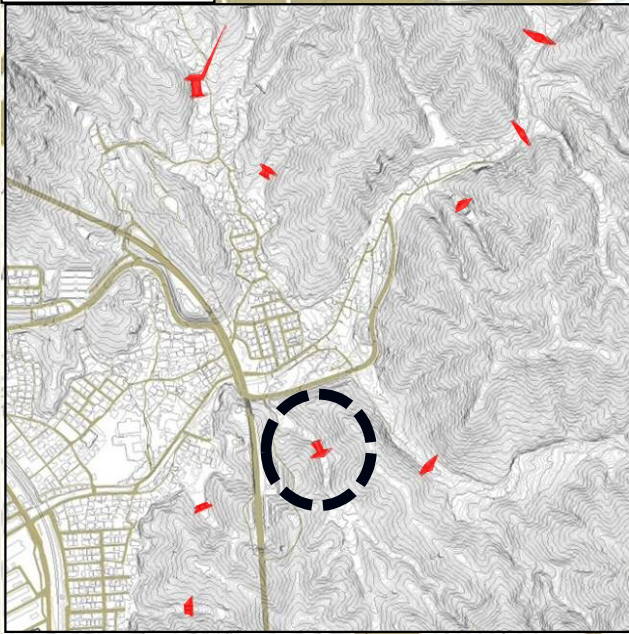
流出土砂量
約1,700m³



※ 工事の内容（寸法・形状・位置等）については
確定したものではありません。

天地川支川8について

位置図

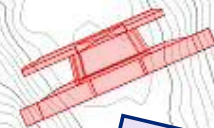
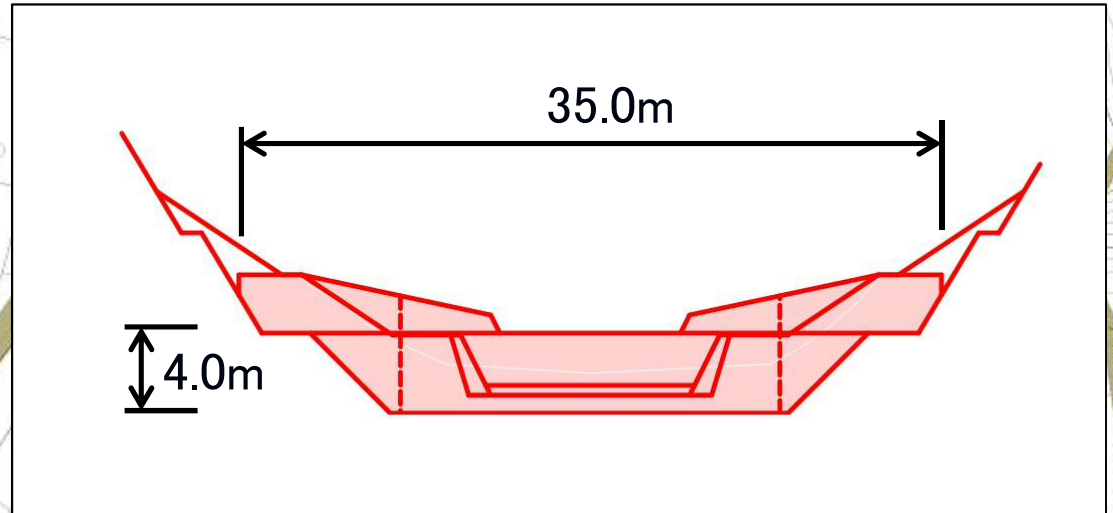
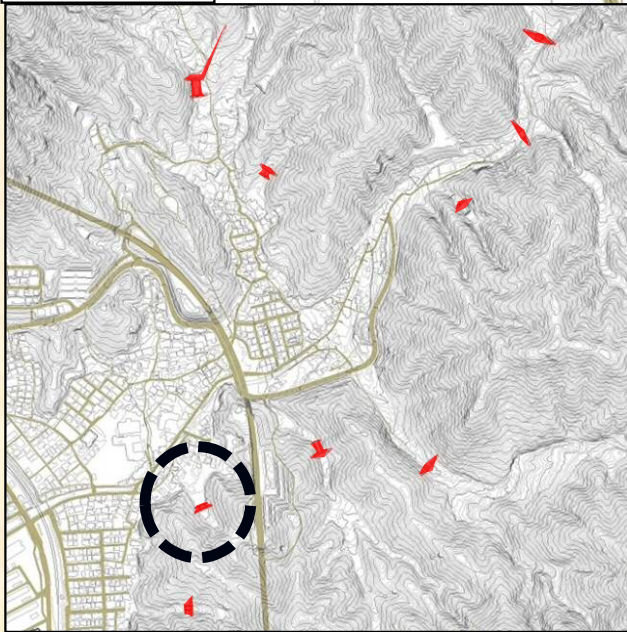


流出土砂量
約9,100m³

※ 工事の内容（寸法・形状・位置等）については
確定したものではありません。

天地川支川9について

位置図

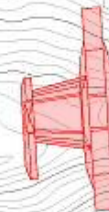
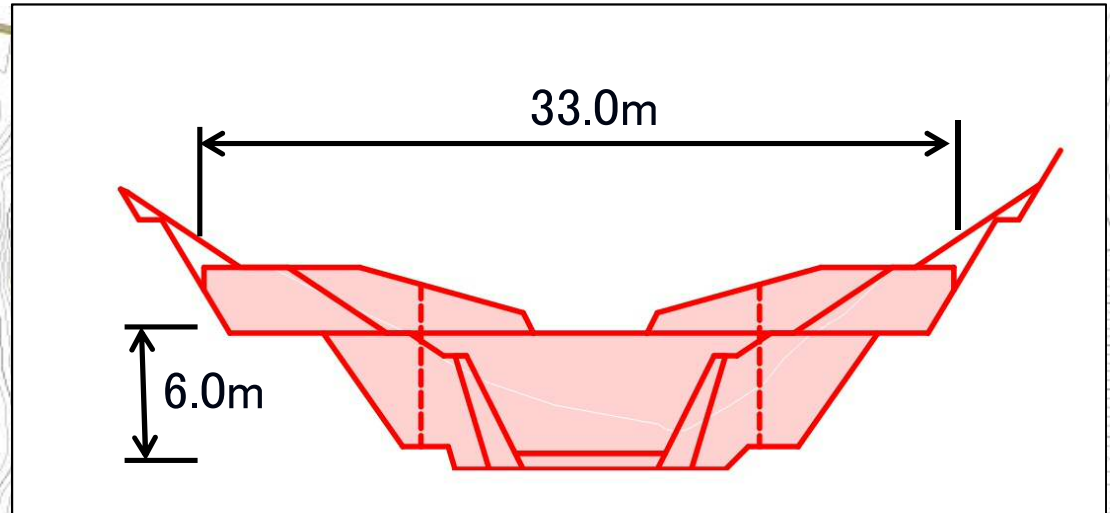
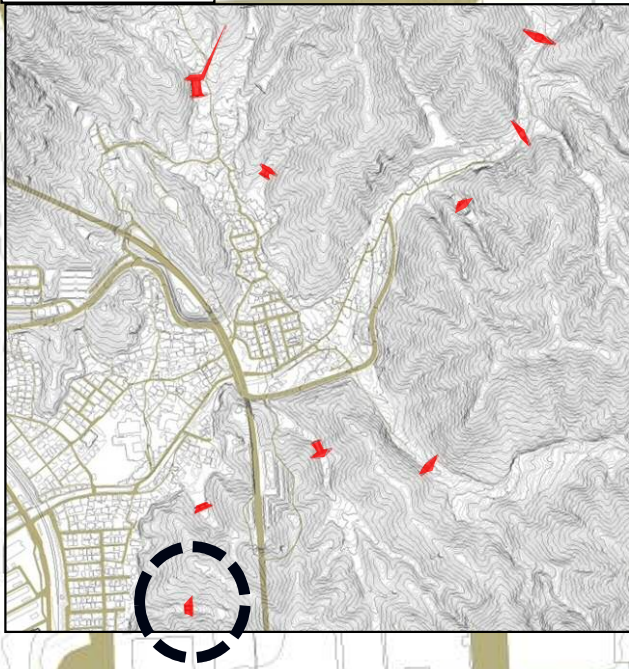


流出土砂量
約1,100m³

※ 工事の内容（寸法・形状・位置等）については
確定したものではありません。

天地川支川10について

位置図

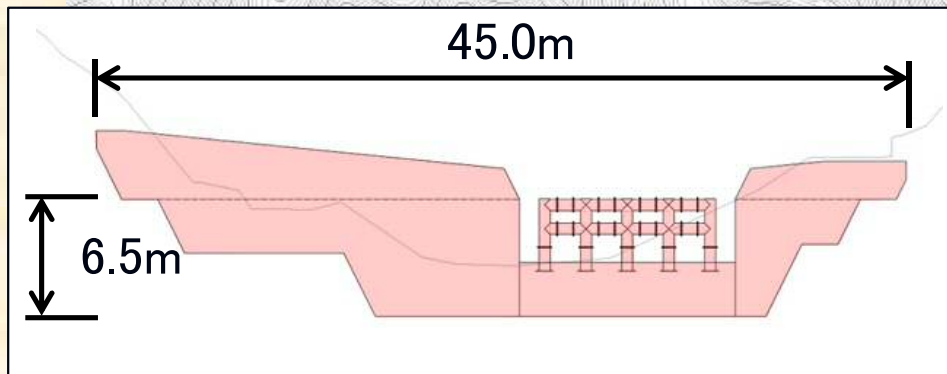
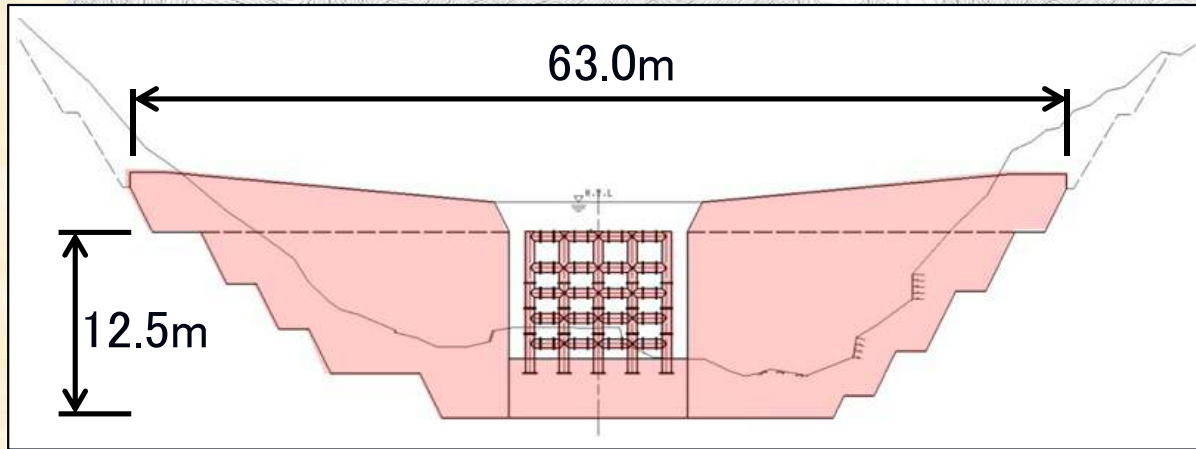
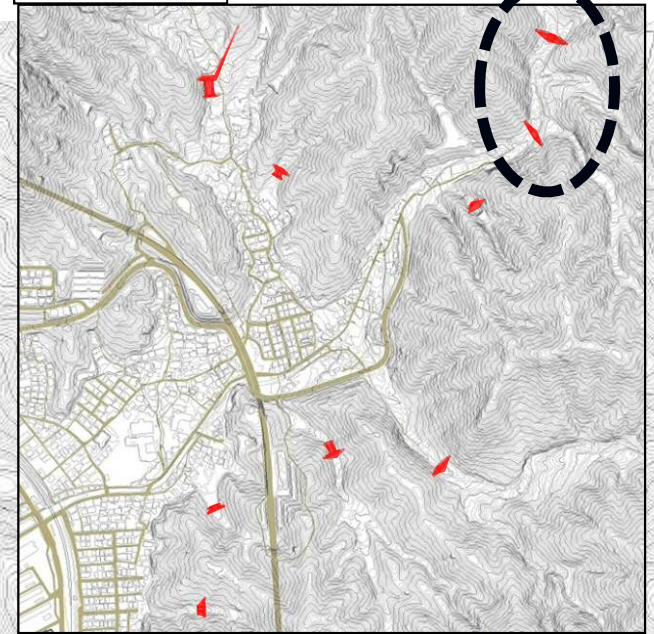


流出土砂量
約2,700m³

※ 工事の内容（寸法・形状・位置等）については
確定したものではありません。

天地川本川について

位置図



流出土砂量
約120,000m³

流出土砂量が非常に多いため、7月豪雨で発生し、渓流内に溜まった土砂を止める「緊急的な砂防堰堤」だけでは、今後流出の予想される土砂を止めることができない

※ 工事の内容（寸法・形状・位置等）については確定したものではありません。

天地川本川について

天地川本川については、緊急的に設置する砂防堰堤に加え、更に2箇所にも砂防施設を設置することで、想定される土砂を止める計画とします

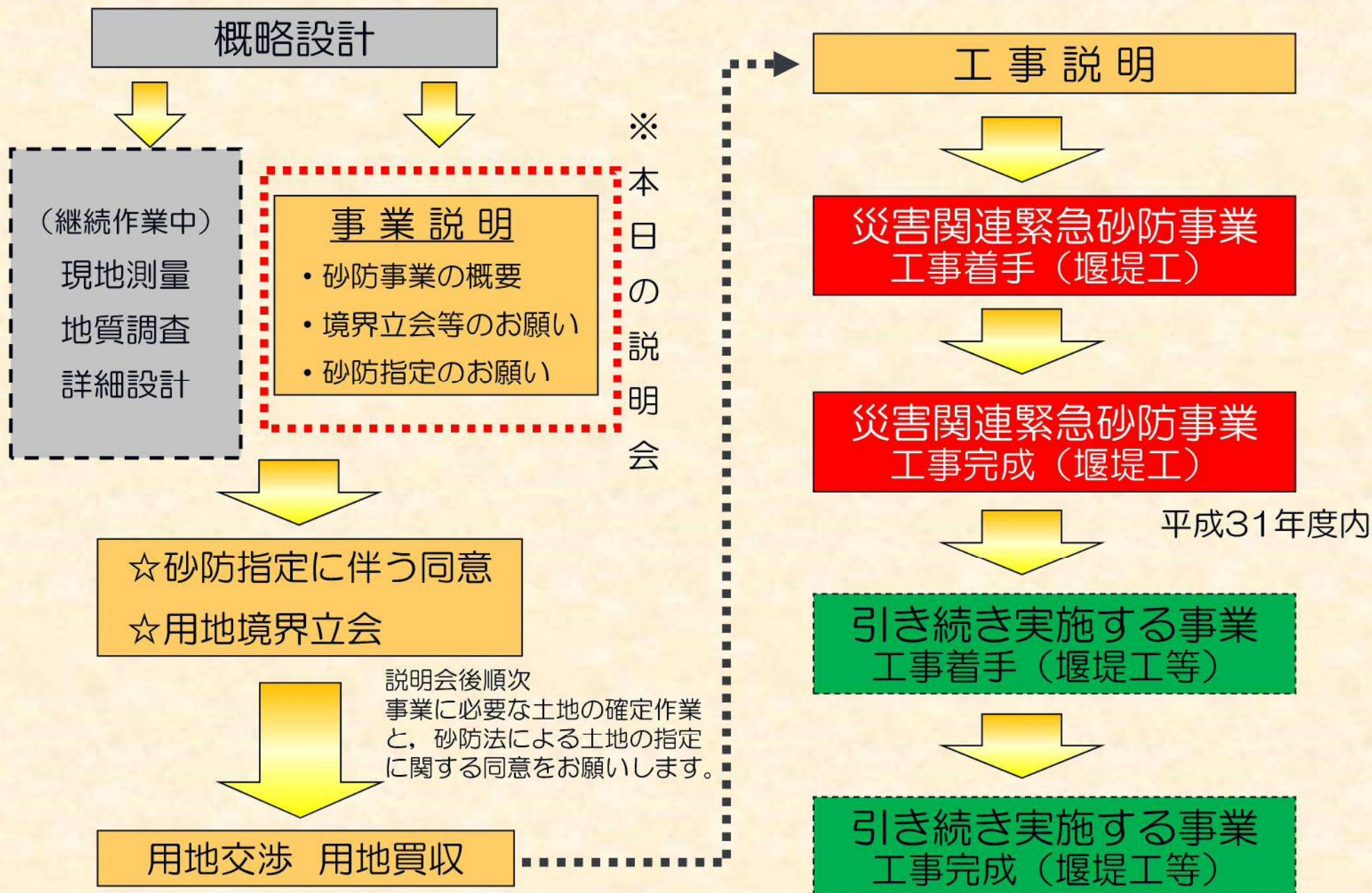
緊急的な砂防事業

引き続き行う砂防事業



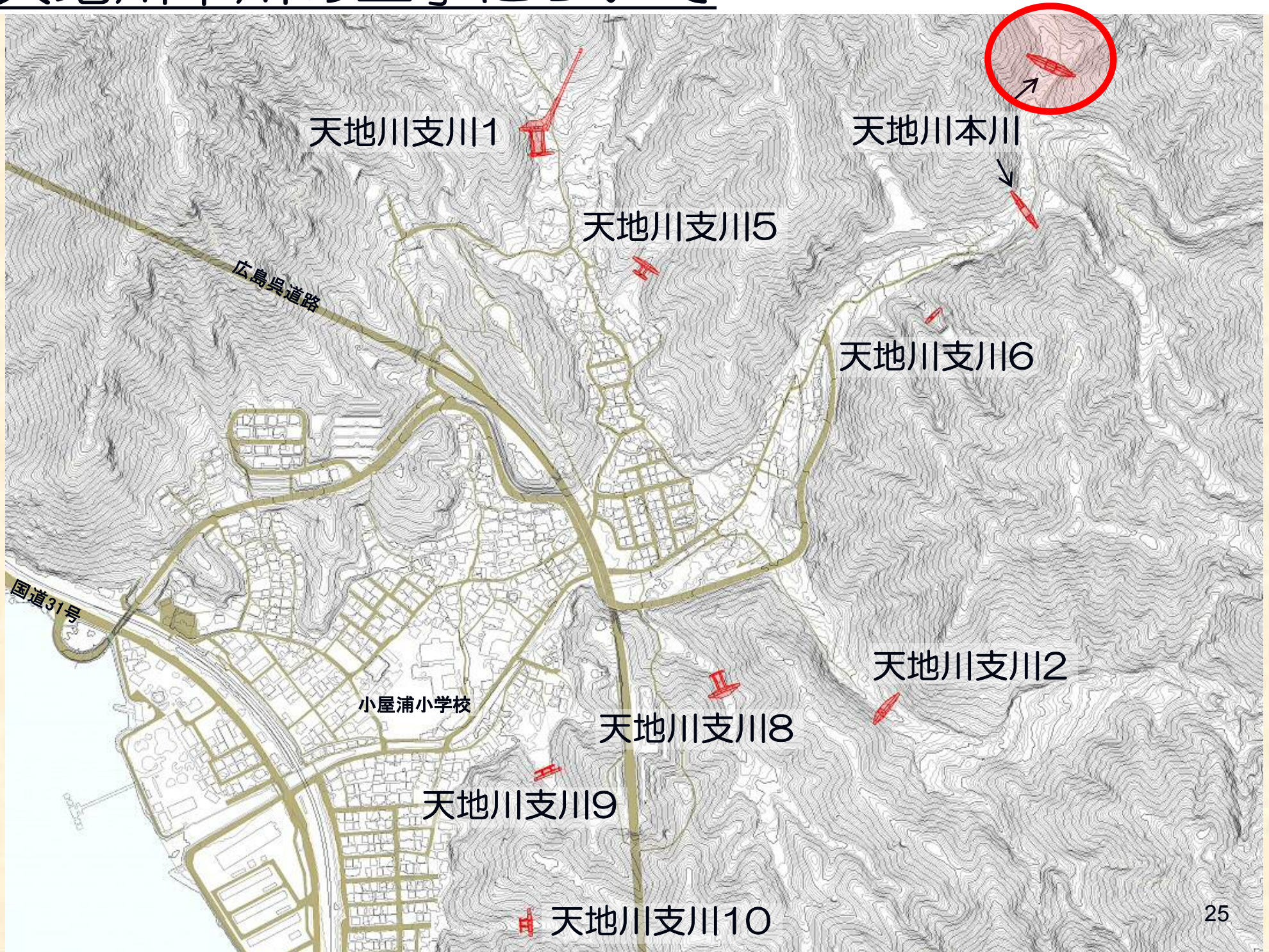
3 事業スケジュールについて

事業工程と今後のスケジュール



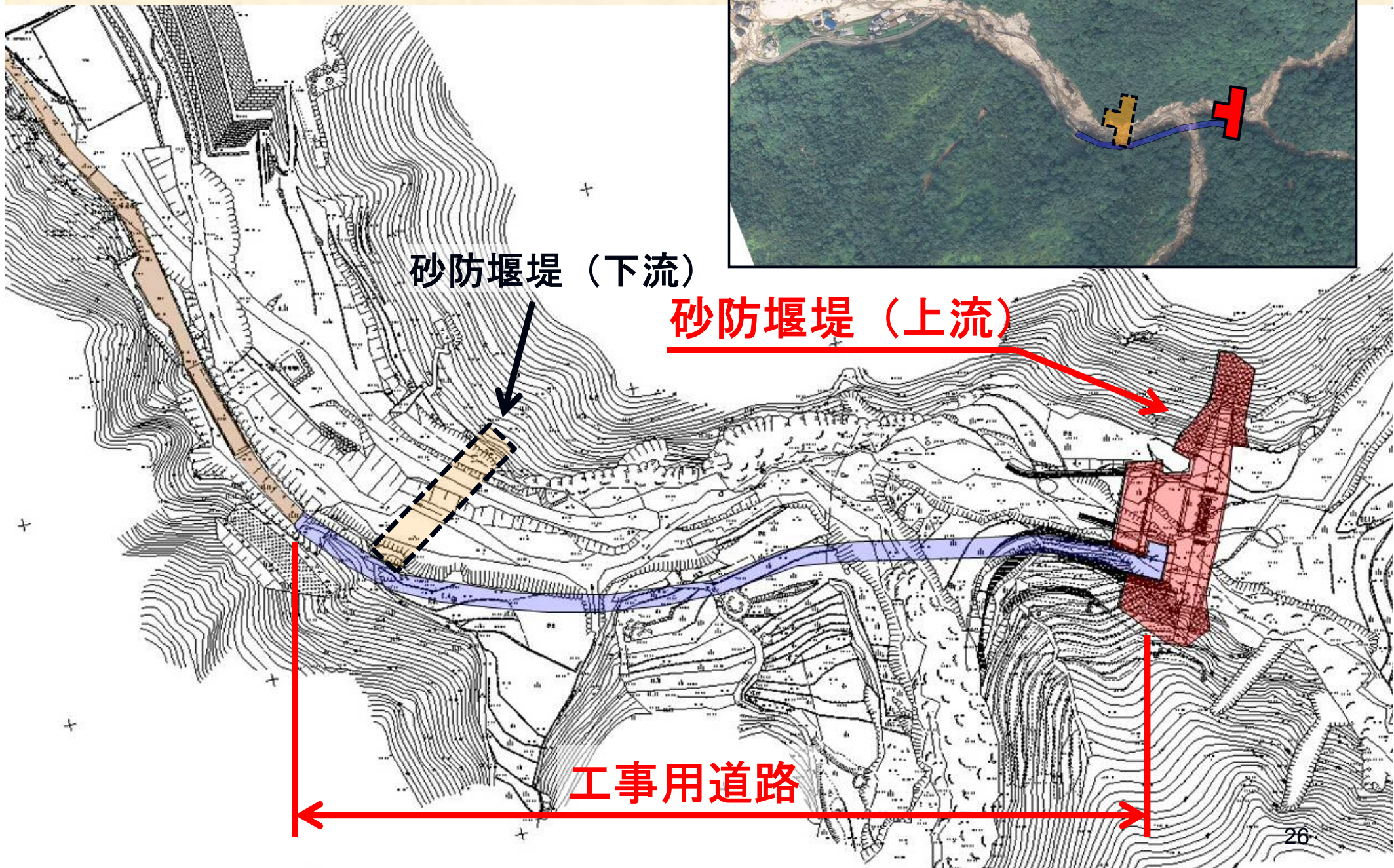
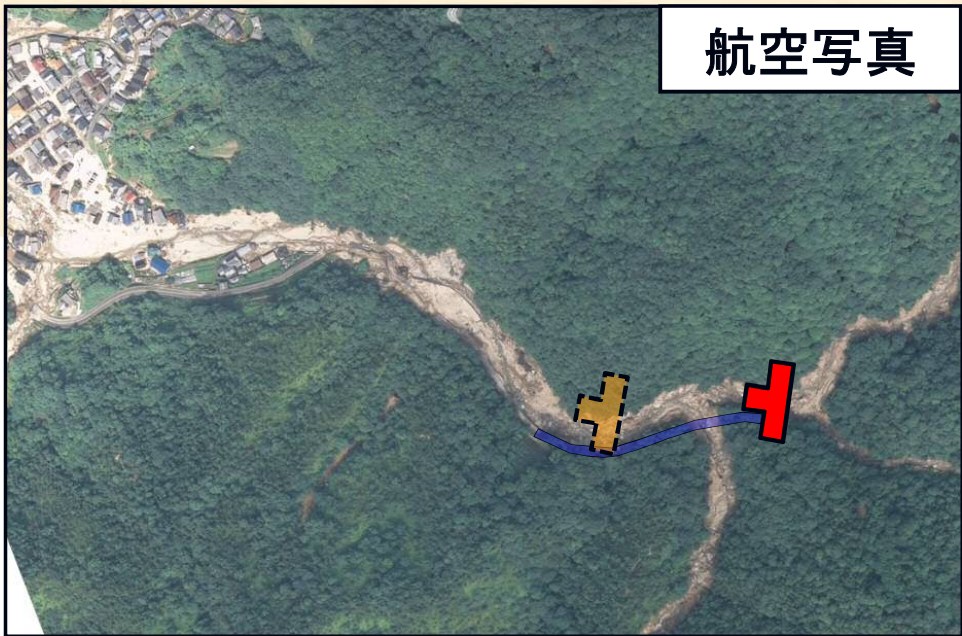
4 天地川本川の工事について

天地川本川の工事について

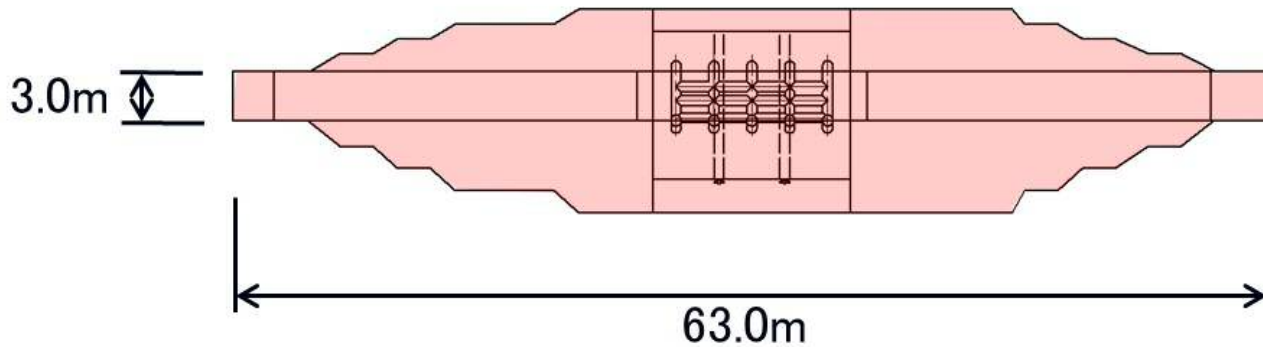
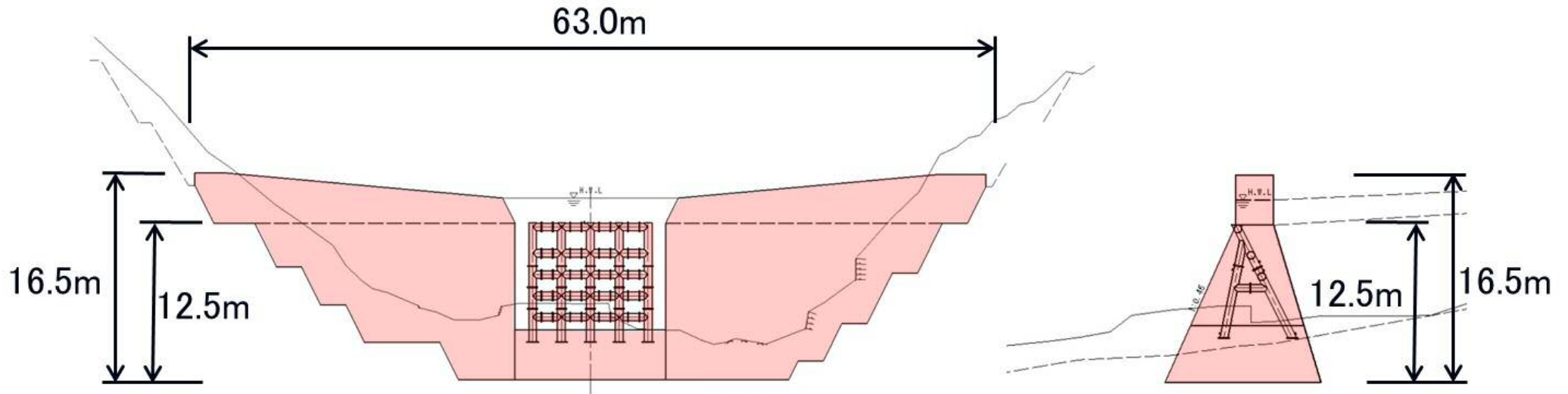


天地川上流堰堤

航空写真



本川堰堤（上流） 一般構造図



透過型堰堤施工事例



天地川本川の工事について



■ 施工業者
株式会社 伏光組
監理技術者 清水
現場代理人 宮田

5 事業実施にあたって

砂防指定地について

工事の実施に先立ち、砂防指定地として指定する必要がある、土地所有者の同意が必要となります。

指定できない場合は、工事が実施できません。

また、指定されることにより砂防指定地内では、次の行為について、県知事の許可が必要となります。

- のり切，切土，掘削又は盛土
- 立木竹の伐採
- 木竹の滑下又は地引きによる搬出
- 土石の類の採取若しくは鉱物の採掘又はこれらの堆積若しくは投棄
- 牛，馬その他の畜類の放牧又は係留
- 砂防設備以外の施設又は工作物の設置，改造又は除却

用地買収に伴う境界立会について

用地買収に先立ち、土地と土地との境界を確定する必要があります。

その際には、原則、土地所有者が土地の境界を現地立会の上で確認していただく必要がありますので、ご出席をお願いします。（関係者には改めて連絡します）

その他（お願い）

- 工事が始まった際には、ダンプトラック・生コン車等の工事用車両が頻繁に通行します。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

6 その他

事業に関する問合せ先

広島県西部建設事務所 広島市南区比治山本町16-12

【工事に関すること】 TEL 082-250-8162

- 天地川本川，支川2

災害復旧チーム 担当：森上，山本，菊池

- 天地川支川1，5，6，8，9，10

災害関連緊急対策チーム 担当：平田，丸山，上野

【用地・補償に関すること】 TEL 082-250-8153

用地第二課 担当：丸中，三田，中邑